

参考資料 成果指標の考え方

(参考) 成果目標の考え方

- ・ 使用収益開始面積の目標値の設定

過去3年間における1年間の使用収益開始面積は、下の表とおり平均20,572㎡であることから、目標値を2haとする。

表 近年3力年の使用収益開始面積（実績値）

	単年度 (㎡)	累計 (㎡)	
平成24年度	12,733.0	1,225,885.2	
平成25年度	22,065.0	1,247,950.2	
平成26年度	26,783.0	1,274,733.2	
平均	20,572.0	—	
平成27年度計画	19,000.0	1,293,733.2	

(参考) 成果目標の考え方

- 計画策定時の未利用地面積及び未利用率

未利用地は、田・畑・山林・耕作放棄地・空き地（未建築宅地・駐車場等）を合わせた土地のうち生産緑地を除いたもの。

未利用率は、区域面積に対する未利用地面積の割合。

表 地区内の未利用地割合

事業名	区域面積	田・畑・山林 耕作放棄地・空き地	生産緑地 面積	未利用地 面積	未利用率
北部第二 (三地区)	2,752,000㎡	479,926㎡	197,571㎡	282,355㎡	10.3%

※H23都市計画基礎調査より算出

(参考) 成果目標の考え方

・ 計画期間終了時の未利用地率の目標値の設定

計画期間終了時の未利用地率の目標値は、藤沢市の北部地域で市施行にて実施した土地区画整理事業における未利用地率の平均値を用いて設定する。

北部地域4箇所の土地区画整理事業の未利用地率は表のとおりとなる。本事業においても同程度の土地利用が進むものと想定し、本事業の目標値を4事業の平均値である5.1%とする。

事業名	区域面積	田・畑・山林 耕作放棄地・空き地	生産緑地 面積	未利用地 面積	未利用地率
西部	3,407,400㎡	251,115㎡	73,930㎡	177,185㎡	5.2%
北部第一	1,930,300㎡	183,911㎡	91,257㎡	92,654㎡	4.8%
北部第二 (一地区)	2,080,700㎡	120,294㎡	16,259㎡	104,035㎡	5.0%
北部第二 (二地区)	794,700㎡	51,681㎡	8,767㎡	42,914㎡	5.4%
完了済み 4地区平均	—	—	—	—	5.1%

(参考) 成果目標の考え方

- 1年間における未利用地の転換面積の設定

未利用地率については、平成23年度の10.3%が、事業完了の令和17年度末には5.1%まで減少し、土地利用が進むものと想定する。(25年間で5.2%の土地が転換する。)

1年間における未利用地の転換については表のとおり、転換割合は0.208%、転換面積は5,724㎡となることから、目標値を6,000㎡とする。

表 未利用地率の目標値の設定について

項目	未利用地率	備考
平成23年度 現状値	10.3 %	
事業完了時点 目標値	5.1 %	R17年度末
25年間の転換割合	5.2 %	
1年間の転換割合	0.208%	
1年間の転換面積	5,724㎡	目標値を6,000㎡とする

(参考) 成果目標の考え方

- ・使用収益開始面積の目標値を年間2 haとし、5年間で10 haとする。
- ・土地利用転換面積の目標値を年間6,000 m²、5年間で3 haとする。
- ・計画期間における土地利用転換率は、
土地利用転換が図られる面積

$$\begin{aligned} & \div \text{計画期間内の使用収益開始面積} \times 100 \\ & = 3 \text{ ha} \div 10 \text{ ha} \times 100 = 30\% \end{aligned}$$

以上から、計画期間での土地利用転換率の目標値を30%に定める。